特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 182 号]　令和元年 10 月 31 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16　□電話　048-931-3844

魚屋（ゆうやがし）河岸跡へ 19 名で上陸

10 月 27 日(日)、左岸船着場から南へ約 2ｋｍ、手代橋たもとの魚屋河岸跡へ 19 名で上陸しました。間もなく松並橋取り壊し工事で、松原北端以北は通行止めになるので、綾瀬川南部の上陸地点の開発が目的でした。ここは、正徳 3 年(1713)、今から約 300 年以上前に草加宿南端にできた最初の河岸場でした。江戸と草加の交易で最も大切な船着場の一つでした。この日は、雑草が生い茂る場所でしたが強行上陸をして、草を刈り散乱するゴミを皆で拾い集めました。

上陸して、コンビニとセンチュリー21 で休憩を取らせていただき艇へ戻りました。営業の中州さんが岸辺まで見送りに来てくれました。この日は、45ℓビニール袋 11 袋分とブラウン管テレビ 2 台、角材などの成果でした。
草加の歴史遺跡が私たちの活動で蘇ったように感じました。

蒲生船着場上陸７袋回収

10月30日(水)、定例活動に木村、井坂、村田、荻原、大久保、篠岡、中島の7名が参加し、7袋分と釣り台、丸太等の成果でした。
今年は、台風15号、19号、21号のたて続けの影響で、河川敷に取り残されたペットボトル類が、次の台風で川へ流下したりの繰り返しで、大量の浮遊ゴミの回収となりました。

葦の枝葉の大群(浮島)に奮闘

台風の影響と思われる、5m超の葦の枯れ枝の大群(浮島)が流れているのを発見。それに絡まっているペットボトルやプラスチック、木片、家庭用品などを回収しました。中には、1m超の木製釣り台もありました。釣り人用のものが増水で流されたものでしょう。約1時間をかけて蒲生船着場へ到着し上陸しました。河川敷には、葦の枯れ枝とペットボトル、空き缶、空き瓶が散乱していました。今回の豪雨で綾瀬川の氾濫はありませんでしたが、増水による環境変化の様子を知ることが出来ました。

写真は左岸船着場へ引き上げられた葦の大群です。ゴミ類だけを選別して、葦は再び小分けして綾瀬川に流しました。葦は植物の枯れ葉であり、成分は分解し再び自然に戻ります。
草加パドラーズのゴミの回収の原則は、①人間が作ったペットボトル、空き缶、空き瓶、プラスチック製品②建築資材、家庭用品などです。動物の死骸は、伝染病予防で触れないよう注意しています。